令和 2年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課
担当名：障害者スポーツ担当
内線：3569

（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B76	障害者スポーツで活力ある社会づくり推進事業	一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者スポーツ振興費

事業期間	平成30年度～	根拠法令	障害者基本法第25条（任意） スポーツ基本法第2、第4、第6、第11、第12条（任意）	宣言項目	11　オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化
				分野施策	061350　スポーツの振興

1　事業概要

パラリンピック出場が期待される選手への重点的支援や競技団体等に対しての競技力向上のための支援を行うことで、本県ゆかりのパラリンピアンを倍増させるとともに障害者スポーツの機運を醸成させる。
また、障害者がスポーツに参加しやすい環境を整備することで、障害者のスポーツ参加を後押しする。

（1）埼玉パラドリームアスリート事業　26,973千円
（2）障害者スポーツが身近になる環境づくり事業　10,975千円

2　事業主体及び負担区分

事業主体　県
負担区分　県１０／１０

3　地方財政措置の状況

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×3人＝28,500千円

5　事業説明

（1）事業内容

ア　埼玉パラドリームアスリート事業　26,973千円
1. 特別強化選手への強化費助成
2. 専門家による医科学的サポート
3. 県内競技団体等への基礎強化支援

イ　障害者スポーツが身近になる環境づくり事業　10,975千円
1. 障害者スポーツのファンづくり
2. 障害者がスポーツを行うきっかけづくり
3. 障害者スポーツを行う場所づくり

（2）事業計画

ア　埼玉パラドリームアスリート事業
1. 特別強化選手を選考し強化費を助成する。
2. 専門家による栄養指導、メンタル指導等のサポートを実施する。
3. 県内の競技団体等を対象に競技力強化の支援を実施する。

イ　障害者スポーツが身近になる環境づくり事業
民間企業と連携して障害者スポーツの理解促進、スポーツをしやすい環境づくりを行う。
1. 小中学校、高校及び大学を対象とした体験交流会等の実施。
2. 障害者スポーツ指導員の活躍の場の創出及び障害者がスポーツを行う機会の創出。
3. 障害者スポーツを広く県民に周知するためのボッチャ大会の実施。

（3）事業効果

	特別強化指定選手	学校体験会の実施
平成30年度	25人	18回
令和元年度	25人	18回

予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	37,948							37,948	△7,228
前年額	45,176							45,176	